



つくば市イメージキャラクター
フックン船長

もっと知りたい!

第31号

つくば市 ばん

かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2024年3月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ つくば市の教育が目指すところは?

問 教育総務課



ギモン 01 つくば市が教育の取り組みで大事にしていることは?

そもそもつくば市の特徴って何?

つくば市は、つくばエクスプレス沿線地区で子育て世帯の転入が続いていることなどから、2023年1月1日現在で人口増加率が全国1位となり、多くの人に選ばれるまちになっています。そのため、毎年のように学校を新設するなど、子どもたちのための教育環境の整備に力を入れているんです。

教育にはどんな特徴があるの?

つくば市では「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を最上位の目標とする『つくば市教育大綱』を、2020年に策定しました。その目標を実現するために、さまざまな取り組みを進めているんです。

『つくば市教育大綱』に掲げる考え方 問 総務課

- ① 「教え」から「学び」へ
- ② 「管理」から「自己決定」へ
- ③ 「認知能力偏重」から「非認知能力*の再認識」へ

『つくば市教育大綱』の詳細はこちら▶



*「やる気」「最後までやり抜く気概」「リーダーシップ力」「協調性」などのような数値で測れない能力のこと

幸せな人生を送るためには何が必要なの?

子どもたち一人ひとりが幸せな人生を送るためには、人口増に対応するための学校建設はもちろんですが、全ての子どもたちが学びの機会を得られるために何をすべきか、学びの質を高めるために何をすべきか、そしてそれらをいかに持続可能な取り組みにしていくかを考えて、必要な取り組みを進めていく必要があるんです。



次のページで、子どもたちの学びの環境づくりについて説明するよ!

ギモン 02 「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を実現するための取り組みについて、詳しく教えて!

直近4年分の数値を比較しています(一部を除く)。2024年度の各数値は、つくば市議会での2024年度予算の承認をもって決定します。

つくばの学びを支える「人」の支援

学校での学びでは、先生の存在がとても大事だね?

そのとおりです。先生たちが子どもたちと向き合う時間を確保し、子どもたちの学びの質を高めるため、学校・先生をサポートしています。

学校サポーターの配置

先生の負担を軽減するため、学校サポーターを配置しています。学習プリントの印刷、テストの採点補助など、先生を支援することは、先生が子どもたちと向き合う時間の確保と先生の働き方改革を実現するためにとても重要です。



学校サポーターの人数
2021年度 48人
2024年度 117人

教育総務課

特別支援教育支援員の配置

担任の先生の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒の安全確保や学習活動のサポートを行います。先生と連携しながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、児童生徒の自立や成長を促します。



特別支援教育支援員の人数
2016年度 63人
2024年度 182人

2017年度に担当室を設置

特別支援教育推進室

校務支援システムの導入

先生が行っている学校での名簿管理や通知表などの作成について、専用のシステムを導入することで、事務処理に要する時間を短縮し、先生が教育の質を高めようとするための時間を確保しています。

総合教育研究所 ☎029(867)1080

デジタル技術の導入によるより良い支援の実現

子どもたちの健康観察のためのアプリや、テストの採点ソフトを導入し、健康状態や学習状況を正しく把握し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行います。

健康教育課▷総合教育研究所



多様な学びの「場」の整備

学びの場は学校だけ?行けない人はどうするの?

さまざまな要因で学校に行けない状況にある子どもたちが全国的に増えています。そんな子どもたちを支援する市独自の取り組みにも力を入れています。

校内フリースクールの設置

教室に行けない子どもたちに、学習支援や居場所を提供するため、校内フリースクールを設置しています。教員免許を持つ「校内フリースクール支援員」を専任職員として配置しており、2024年度からは、そのサポートをする「校内フリースクール補助員」も配置します。



校内フリースクールの設置数
2021年度 0校
2024年度 50校(全校)

学び推進課

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置

子どもたちや保護者の心理的問題の軽減を行う「スクールカウンセラー」や、福祉・医療・警察などと連携して生活環境を改善する「スクールソーシャルワーカー」といった専門家を配置しています。



スクールカウンセラーの人数
2021年度 14人
2024年度 44人

教育相談センター ☎029(866)2211

民間不登校児童生徒支援施設利用者支援交付金

民間の不登校児童生徒支援施設の利用には料金がかかります。保護者の経済的負担を軽減し、学校に行けない子どもたちの学びを支援するため、1人当たり月額2万円を上限に交付しています。

公設不登校児童生徒支援施設「ここにこ広場」

学校に行けない子どもたちが安心して通える学びの場・居場所を確保するための施設を市で設置しています。専門的知見を持つ民間業者に運営を委託し、子どもたちの学びを支援しています。



他にもたくさん取り組んでいます

- ▶部活動指導員の配置(学び推進課)
- ▶外国語指導助手(ALT)の配置(教育総務課▷学び推進課)
- ▶理科支援員の配置(学び推進課)
- ▶ICT支援員の配置(総合教育研究所)
- ▶人権課題に関する教職員研修の実施および学校内の意識調査(学び推進課) など
- ▶部活動地域移行事業(学び推進課)
- ▶高校生への奨学金事業(教育総務課)
- ▶児童クラブ運営委託事業(こども育成課)
- ▶放課後指導員の処遇改善・キャリアアップ補助金事業(こども育成課) など

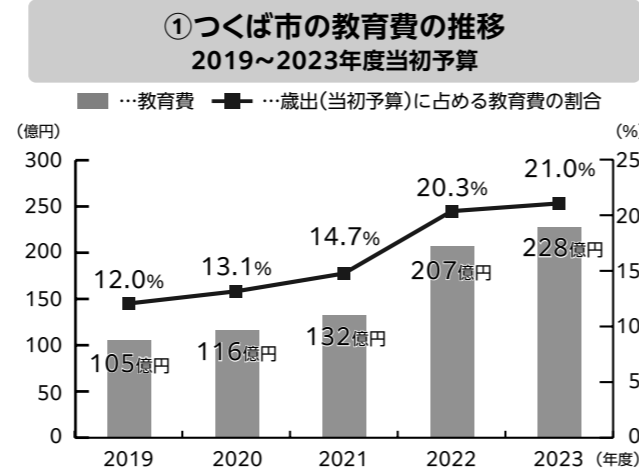
他にもたくさん取り組んでいます

- ▶民間不登校児童生徒支援施設事業費補助金(学び推進課)
- ▶教育相談員の配置(教育相談センター)
- ▶子どもの学習支援事業(こども未来課)

ギモン 03 つくば市の教育費の状況を教えて!

つくば市は教育にどれだけ費用をかけているの?

右の資料をご覧ください。①を見ると、つくば市は年々教育費を増やしており、歳出全体に占める割合も増えていることがわかります。②は、少し前のデータですが、決算額に占める教育費の割合を見ても、施行時特例市(同規模人口の自治体)と比べて大きく、つくば市は教育に費用をかけていることが読み取れます。



②教育費の割合 2021年度決算

公表されている決算データは2021年度が最新

- ▶つくば市 14.2%*
- ▶施行時特例市*2平均 10.9%
- ▶全市町村平均 11.3%

(出典:総務省ホームページ「財政状況資料集」)

*1 この値は決算であるため①の同年の値とは異なる。
*2 「人口20万人以上」で、総務省から指定を受けた市。つくば市は2007年から特例市に移行。2015年の特例市制度の廃止に伴い「施行時特例市」となった。



保護者の負担軽減の最善策は、「給食費の無償化」? 健康教育課



教育に係る保護者の負担は、給食費という一つのことだけでなく、教育に係る予算全体を見ながら考えていく問題です。ただ、給食費についても可能な限り保護者の負担軽減を検討すべきと考えており、つくば市では、物価高騰による給食費の値上げを行っていません。物価高騰分の負担費用や、地産地消の推進費用などを含め、年間約3億円を支出しており、さらに、就学援助世帯の給食費を無償化しています。その上で全ての園児・児童・生徒の給食費を無償化すると、それらと合わせて年間約15億円かかるため、給食費の無償化については引き続き国に要望していきながら、今後も保護者の負担軽減のためにできることを行っていきます。

これからの教育の取り組み、もっと教えて!

🤖 今後はどんな取り組みを進めていくの?

👤 これまでに紹介した取り組みの他にも、まだまだ新しい取り組みや、さらに力を入れていく取り組みがあるので、下で紹介します。「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を実現するためには、限られた予算をさまざまな取り組みに有効に活用していくことが大事だと考えています。これからの時代を担っていく子どもたちの明るい未来のために、必要な取り組みを持続可能な形で進めていけるよう、皆さんと共に考えていきます。



今後の主な取り組み

※各事業の実施は、つくば市議会での2024年度予算の承認をもって決定します。

◆ 学校司書の配置の充実

学校司書の配置を充実させ、より魅力のある学校図書館の整備を進めます。

◆ 児童生徒の芸術文化鑑賞・体験事業

芸術文化への理解・関心を深め感性・想像力を育てるため、芸術文化に触れる機会を増やします。

◆ 日本語学習支援員の配置

日本語学習の支援が必要な子どもたちのために、学校のニーズに応じて日本語学習支援員を配置します。

◆ 教員研修費の拡充

時代や教育的なニーズに対応し、校外研修への参加や、校内研修の開催のための研修費を拡充します。

◆ 新桜学校給食センター建設

2025年4月供用開始を目指し、児童生徒数の増加に対応するための給食センター建設を進めています。

◆ 就学援助費の拡充

クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代・卒業記念写真代を、支給対象費目に追加します。

◆ コミュニティ・スクールの導入

地域と学校が、共に子どもたちの成長や学びを支えていくための仕組みを全学園に段階的に導入します。

◆ アフタースクールモデル事業

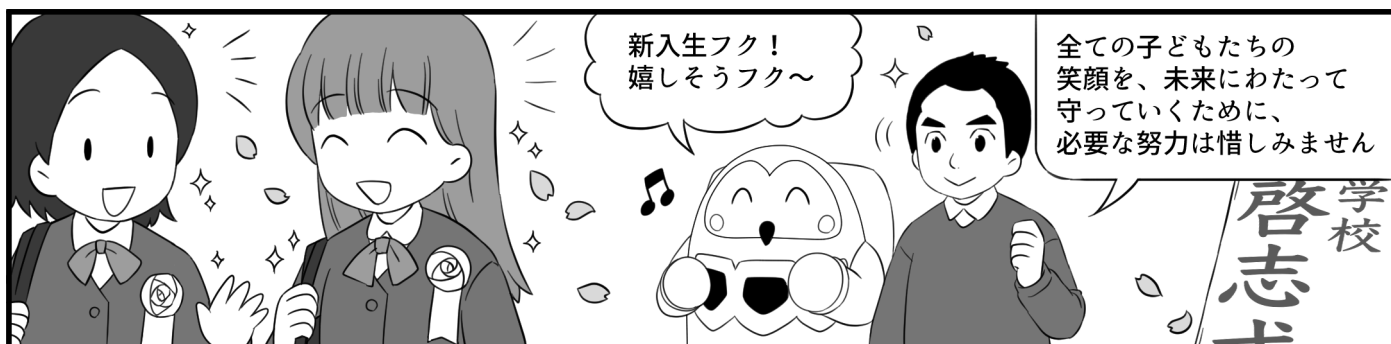
放課後の居場所や多様な体験・活動を提供するため、2025年度からモデル校での運営を開始します。

◆ 児童館土日開放実証実験

中高生や子育て世帯の学習・遊び・交流の場をつくるため、3カ所の児童館で土日利用を始めます。

◆ 高等学校通学支援金

遠距離通学に伴う生徒や保護者の負担を軽減するため、通学支援金を交付します。



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、「もっと知りたい!つくば市かわら版 第31号」をお読みになったご感想などをお寄せください。(各号ごとのアンケートとなります)



▶ <https://r.qrqrq.com/LA20RYp0>

※個別の質問にお答えすることはできません。

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

🤖 市ホームページ



🌐 マチイロ



📺 市公式YouTube

